

ウィズコロナ時代の図書館サービス

原 田 隆 史

COVID-19が世界で猛威を振るうようになって、世界中のあらゆる活動が大きく変化してきている。もちろん図書館活動についても例外ではない。閲覧座席の制限、開館時間の短縮、資料返却時のアルコール消毒など、従来にはなかった対策が必要となった。さらに、密集を避けるなど人々の活動パターンも大きく変わる中で、図書館に対しても来館者に対するサービスだけではない新たな活動が求められている。たとえば、資料の自宅への配送、デジタルアーカイブの充実と公開、YouTubeでの読み聞かせ、学校図書館のWebOPAC公開などはこれらの例といえよう。すなわち、図書館は従来にも増して来館しない／できない人々に対しても積極的な情報提供・情報発信をしていくことを求められることとなった。それに対応するために図書館で働く人々も大変苦労されたと思う。

一方で、今回の件に対応する図書館の活動が、多くの人々の持つ図書館のイメージを「思っていたよりも広い活動を行う組織である」という風に変化させることにつながるならば、この未曾有の事態を、少しでも災い転じて福となすことにつながられることが期待される。

インド出身の著名な図書館学者である S. R. ランガナタンは、1931年に発表した図書館学の五法則の中で図書館について、A library is a growing organism と表現した。森耕一はこれを「図書館は成長する有機体である」と訳している。ランガナタン博士は、図書館を生物になぞらえて新しいものを積極的に取り入れ、古いものを捨て去り、常に成長していかななくてはならないものである。変化していくことこそが生物にとっての不可欠な原則であり、図書館も同様であると指摘している⁽¹⁾。これは図書館学の五法則の中でも特に特徴的な記述と考えられ、筆者も今から約40年前、森先生自身から大学の授業で、この説明を受けた時に大きな感銘を受けたことを今も思い出す。

日本において見られる、1963年の『中小都市における公共図書館の運営』（中小レポート）および1970年の『市民の図書館』刊行を契機とした図書館サービスの変化は、まさにこの具現であろう。それまでの図書館像を一新し、当時の日本社会に対応したこの変化は社会にも広く受け入れられ、活発な図書館利用を生み出していった。しかし一方で、

この活動の結果として生まれた「図書の貸出を行う施設」「静寂が支配する読書空間を用意して利用者の来館を待つ施設」という図書館のイメージは人々に強く印象づけられ、現在にいたるまで50年以上にわたって図書館に対する新たな期待が生まれにくいというジレンマにも繋がっていると感じられる。

高度成長期を経て戦後期のように図書の購入が家計への大きな負担ではなくなり、さらにインターネットをはじめとするネットワークの発達によって人々の情報収集に関する行動も大きく変化してきた。人々の行動様式が大きく変化してくる中で、図書館は十分に成長することができたのであろうか。もちろん、課題解決型図書館や滞在型図書館など、数多くの図書館で新たな取り組みが行われ、大きな成果をあげてきたことは大きく評価されるべきであろう。問題は、これら図書館の変化にも関わらず、図書館に対する人々のイメージ全体が大きく変わることがないというところにあると思考する。「情報を制するものはxxを制する」という言葉は、多くの場面で使われるが、情報を取り扱う中心的な組織である図書館は、自らが *growing organism* であることについて十分な情報発信ができてきたのであろうか。

前にも述べたように、最近の図書館では新しいサービスも出現し、静寂空間とは一線を画する閲覧空間の提供なども行われている。まだ図書館にはほとんど浸透していないが電子図書の発達などが、図書館による図書の貸し出しというサービスを完全に変化させる可能性も感じられる。もちろん、非来館型のサービスだけが図書館に求められた変化ではないし、各図書館によって異なる「将来の図書館像」があることは当然であろう。しかし、COVID-19という大きな天災と結びつけられる形で行われる新たな非来館型サービスは、人々に注目を与える力という点で、強固に定着した日本人の図書館像に新たな視点を追加する契機であるともいえよう。

ある意味で、我々は1970年代以来の図書館に関するパラダイム転換の時代に直面しているのかもしれない。図書館の状況に関するデータを早急に集めて検証し、各図書館に応じた新たなサービス展開について検討し、実現を急ぐことが求められ期待されている。

注

- (1) 竹内愼. 図書館の歩む道：ランガナタン博士の五法則に学ぶ. 日本図書館協会. 2010, p.295.

(はらだ たかし. 同志社大学免許資格課程センター教授)